

# 高知龍馬空港・ 航空ネットワーク成長戦略検討会議

## 第1回検討会議

### 検討の進め方・全体スケジュール

平成30年5月8日

# 検討の背景・成長戦略の方向性

## 現状

- これまでは路線の縮小・廃止が危惧される路線に対して、路線を維持する観点から各種の利用促進等の施策を実施し、好景気に支えられたこともあり、各路線ともに利用状況は好調に推移

## 問題点

- 小型機が多い現行機材では提供座席数に限りがあり、便や曜日によっては予約が取りづらい状況が発生
- 国際定期便が就航しておらず、海外から本県へのアクセスがしづらい
- 全国で誘客活動が活発化する中で、既存路線を維持するこれまでの取組だけでは交流人口の拡大などの面で、競争上、本県が不利になることが懸念



## 方向性

- 県民の移動手段の選択肢拡充や県外・海外の利用客の利便性向上はもとより、国際観光のさらなる推進など県経済の発展に向け、高知龍馬空港及び航空路線の充実を図る必要がある
- 総合的な成長戦略のもと、関係者が協力し、一体的かつ効率的な取組が必要である

## 検討の柱

- ① **既存路線の拡充**（機材大型化または増便）
- ② **国内LCC路線の誘致**（成田線・関西線）
- ③ **国際路線の誘致**（チャーター便の実績を積み上げた上で定期路線化を目指す）
- ④ **空港インフラの整備**（①～③に対応するための空港インフラの充実・改善）

# 施策の方向性（案）：航空ネットワークの拡充

	路線	目標	施策（アクションプラン）案
① 既存路線の拡充	羽田	機材の大型化	<p>→本検討会議で具体化</p> <p>【旅客特性に応じたアプローチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 需要の創出（プロモーションの強化、国際線乗継の促進支援など）</li> <li>● 各種取組への行政による支援</li> <li>● トップセールス、官民協議会による要望活動</li> </ul>
	伊丹	機材の大型化 (ジェット便の増加)	
	福岡	増便 (2→3往復化)	
	小牧	増便 (2→3往復化)	
② 国内LCC路線の誘致	成田	早期就航の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 航空会社との定期的・継続的な交渉</li> <li>● 就航先と連携した誘致活動</li> <li>● トップセールス、官民協議会による要望活動</li> </ul>
	関西	早期就航の実現	
③ 国際路線の誘致	プログラムチャーター便	定期便化を目指したプログラムチャーター便の運航	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外の航空会社、旅行会社へのセールス</li> <li>● 需要の創出</li> <li>● 行政支援の検討</li> <li>● トップセールス、官民協議会による要望活動</li> </ul>

# 施策の方向性（案）：空港施設・設備

## ④ 空港インフラの整備

### 増便・国際化への対応

増便・大型化対応

- ボーディングブリッジ、エプロンの拡充
- ターミナルビルの増築

国際化対応

- CIQ施設・設備の整備
- ターミナルビルの増築（再掲）
- 免税店、外貨両替等の機能拡充

### 利便性の向上

アメニティの充実

- ラウンジの設置
- テナントの充実

アクセスの改善  
（二次交通の拡充）

- レンタカーの充実
- 東部方面への公共交通の充実

## 検討会議の役割

- 航空ネットワークの拡充に向けた阻害要因や課題の抽出と共有
- 関係者間での課題の解決策・対応策を検討
- 課題解決に向けた総合戦略となる「アクションプラン」を策定
- アクションプランが施設整備を伴う場合はその整備計画を策定

# 全体スケジュール

第1回  
(5月)

現状、課題、施策の方向性の共有

- 関係機関へのヒアリング
- アクションプラン骨子、目標案の作成

第2回  
(8月)

アクションプランの草案の策定

- アクションプランの詳細の検討
- 施設整備の必要規模の算出、配置計画の検討

第3回  
(11月)

アクションプランの詳細の決定

→ H31当初予算見積への反映

- アクションプランの最終調整
- 施設整備計画の最終調整

第4回  
(2月)

アクションプラン、施設整備計画の策定

